

平成26年10月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成26年10月28日 (火)		
2 開会及び閉会	開会	15時30分	
	閉会	16時00分	
3 出席委員	委員長	曾田佳代子	
	委員	東條光彦	
	委員	奥津晋	
	委員(教育長)	山脇健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	渡辺和夫	教育次長	植田朋哉
統括審議監(企画調整担当)	佐々木辰昭	審議監(学校教育担当)	天野和弘
教育企画総務課	長瀬尚樹	指導課長	堀井博司
生涯学習課長	安友公夫	中央公民館長	片岡延之
文化財課長	乗岡実	こども企画総務課 (次世代育成室室長補佐)	溝手得三郎
事務局(教育企画総務課課長代理)	赤野政治	事務局(教育企画総務課主任)	長森晴子
5 議題及び結果			
6 教育長等の報告 [平成26年9月20日(土)～平成26年10月17日(金)]			
9/21	自然体験リーダー養成講座ステップ2	こども企画総務課	
9/29	いきいき学校園づくり	指導課	
9/30	こらぼミーティング(校園長会代表者との懇談会)	教育企画総務課	
10/1	いきいき学校園づくり	指導課	
10/2	いきいき学校園づくり	指導課	
10/3	いきいき学校園づくり	指導課	
10/4	親子環境学習サマースクール③	生涯学習課	
10/6	いきいき学校園づくり	指導課	
10/8	こらぼミーティング(放課後学習会)	教育企画総務課	
10/10	いきいき学校園づくり	指導課	
10/12	岡山市ジュニアオーケストラ新入団員対面式	こども企画総務課	

10/15	いきいき学校園づくり	指導課
10/16	いきいき学校園づくり	指導課
10/17	いきいき学校園づくり	指導課
東條委員 教育企画総務課長	○ こらぼミーティングについて、内容を教えてほしい。 ○ 概要としては、9月30日のこらぼミーティングでは、幼稚園、小学校、中学校の校園長会代表者6名と教育委員4名で実施した。大きなテーマの方向性について協議しており、今回は岡山型一貫教育の成果と課題、今後の方向性について意見交換を行った。また、10月8日のこらぼミーティングでは、上道中学校で20名程の中学2年生がプリント学習を行い、塩田委員と教育長が採点をしながら、生徒たちとコミュニケーションをとった。その後、生徒4名と教育長、地域ボランティアの方2名と教員3名と塩田委員で意見交換を行った。詳細については、参加された教育委員から発言をいただきたい。	
奥津委員 教育長	○ 校園長とのミーティングに参加したが、各学校の取組や現場の声を聞くことができよかった。このような機会を増やした方がよいと思う。 ○ 校園長との会では、各々の学校園で学力向上や問題行動等について様々な取組を行っていることが直に伝わってきた。小学校と中学校で多少違いもあり、小学校はある程度、授業でダイレクトに取り組んでいた。 上道中学校の学習会では、どの子も素直で、計算を間違えても、自分で全部正解にたどり着く努力をしていた。生徒4名と話をした際、小学校の高学年で学習につまずいたということだったが、どの生徒も学習会に参加することでもう一度勉強し直すんだという思いを持っていた。おとなしい生徒が多く、将来の夢を尋ねてもなかなか回答がなかったのは少し残念だったが、遠慮をしていたのかもしれない。取組は、部活動のない水曜日に週一度、教員とボランティアの方2～4名で行われている。取組の結果、良くなっていくのであれば、各校に取組を広げていくことが可能かと思う。また、このようなやり方であれば、教員の負担もそう大きくないのではないか。	
委員長	○ 教育委員も事務局の者も現場を知ることが一番大切だと思うので、このような形で現場に行くことは重要だと思う。上道中学校の場合は新聞に取り上げられていたが、教育委員会や学校が行っている取組について、情報発信の仕方を考えないといけない。 校園長との会では、幼稚園、小、中学校の縦軸で物事を考えられていて、連携して進めていくことは大切だと感じた。 今後の課題としては、こらぼミーティングをどう次につなげていくのかということ。現場が様々な工夫をしていることが分かったが、それをどういう形で全体の問題解決にすくい上げていくのか、こらぼミーティングを実施することで成果につなげる工夫が必要と思う。	
奥津委員 生涯学習課長	○ めだかの学校の親子環境学習サマースクールについて、1、2回目の時は参加者がもっと多かったと思うが。内容を説明してほしい。 ○ 今年度、親子環境学習サマースクールは、ESDキャンプ1回を含む計4回で企画しており、10月4日が最後の回であった。当日は、めだかの学校で開会式をした後、近くの田んぼに移動して稲刈りを行い、田んぼの畦道で昼食をとった。その後、近くの川に移動し、魚とりや魚の解説等を行った。今年度実施した4回の参加者合計は、大人78名、こども95名の計173名であった。今回、参加者が少なかった理由は、当日気温が低く、寒かったためと思われる。来年度以降は、10月の回は水周りでないプログラムに変更し、参加者の増加を目指したいと考えている。	

<p>委員長 生涯学習課長 委員長 中央公民館長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親子環境学習サマースクールは、事前申し込みがあるのか。</li> <li>○ 事前申し込みが必要である。</li> <li>○ ESD推進のための公民館－CLC国際会議について、報告願いたい。</li> <li>○ 岡山コンベンションセンターを本会議場とし、2日目からは公民館5館で分科会を開催した。一番の特徴としては、全て参加型で行ったことである。 2日目の分科会は午前中の事例発表の後、公民館活動の見学を挟み、午後から成果文書のベース作りとして意見交換を行った。意見交換は、全ての方が参加できるよう、グループワーキング形式で行った。私は第7分科会に参加していたが、日本語で会話するグループ3つ、英語で会話するグループ2つの計5つのグループに分け、ファシリテーターの挙げたテーマに対して、それに対する課題を順次発表してもらい、なぜその課題が出るのかということについて、また意見交換を行った。 成果文書の作成は、2日目の夕方の報告会後から始め、翌日午前3時か4時ぐらいまでかかった。そして、集約された英語版の成果文書が3日目に採択された。 非常に大きな成果があり、公民館としても、この成果文書の趣旨に沿った予算編成等を検討していきたい。また、この会議でつながりを得た海外CLCとメールで意見交換を行っており、今後、何らかの形で公民館活動に活かしていきたいと考えている。 今回の成果文書と会議の内容については、10月21日の第94回中央教育審議会に国に報告がなされている。詳細については、配付した資料を確認いただきたい。</li> </ul>
<p>委員長 東條委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大きな会議が成功を収めたことはよかった。参加した教育委員から意見等をいただきたい。</li> <li>○ 2日目の第6分科会「エンパワーメント」に参加した。「リテラシー」という言葉は、元々識字教育の中で使われている言葉だと思うが、今もそのままの意味で使われている国が多くあり、識字率が50%前後の国があるのに対して、日本における「リテラシー」は違う次元の話になっている。資料に記載があるとおり、様々な国があり、様々な問題があると感じた。</li> </ul>
<p>奥津委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オープニングセレモニーとフェアウェルパーティーにしか参加できなかったもので、残念だった。国際会議では、様々な言語が飛び交うので、会議の運営は苦労しただろうと思う。岡山では国際会議の機会が少なく、また、都市圏と比べると日常で外国の方に接する機会も少ない。この国際会議で、外国の方に岡山へ来てもらい、ふれ合いをもったり、岡山を知ってもらったりするということは意義深いことと思われる。</li> </ul>
<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体会と第7分科会に参加した。フォーマル教育とインフォーマル教育、日本で言うと学校教育と社会教育にあたると思うが、互いに役割を分担して人を育てていくと考えていた。しかし、役割分担をするのではなく、フォーマル教育とインフォーマル教育が一緒に取り組むという考え方が必要なのではないかと感じた。 成果文書を集約するのに、深夜3時頃まで討論をされ、大変だったと思うが、それだけ参加された方が熱意を持って取り組んでくださったということ。岡山の公民館が世界に認知されたという感じを持った。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3日間参加したが、地区館に至るまで同時通訳を配置する等、大変なことだったと思う。貴重な国際会議の場に、多くの一般の方が参加されていたが、学校関係者がどの程度参加していたのかが気になった。フォーマル教育、インフォー</li> </ul>

	<p>マル教育の意見交換で、「なぜ学ぶのか」「なぜ勉強がしたいのか」といった話がでた。先進国と発展途上国とで考え方が大きく違うが、発表の中で、「原点は学びたいということ」という声が多かった。学校教育でもそういった視点が必要なのではないかと感じた。</p> <p>また、各地区館で、あそこまで「おもてなし」ができたのは、普段から地区館が行っていることが実を結んだからだと思う。今後、地区館で更にどういったことができるか、期待している。</p> <p>成果文書作成の一連の流れを知ることができ、国際会議を体験できたことは、非常に有意義だった。</p>
--	---

7 議事の概要	
委員長 委員長 全委員 委員長 全委員 委員長 全委員 委員長 全委員 委員長 全委員 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成26年10月定例岡山市教育委員会を開催する。</li> <li>○ 本日の傍聴希望者は1名。入室してもらってよいか。  <input type="checkbox"/> &lt;承認&gt;</li> <li>○ 日程第1, 会期は本日1日限りとしてよいか。  <input type="checkbox"/> &lt;承認&gt;</li> <li>○ 日程第2, 9月定例会の議事録に問題はないか。  <input type="checkbox"/> &lt;承認&gt;</li> <li>○ 日程第3, 事業報告について質問はないか。          (会議録6「教育長等の報告」に記載)</li> <li>○ 議事に入る前に会議の公開・非公開について諮る。          日程第4の第27号議案は、個人に関する情報を含み、会議を公開することにより個人の権利利益を害するおそれのある事項として会議規則第9条第1項第5号に該当, 日程第4の第28号議案は、教育事務に関する議会の議案についての市長への意見の申出に関する事項として会議規則第9条第1項第3号に該当するため、非公開としてよいか。  <input type="checkbox"/> &lt;承認&gt;</li> <li>○ それでは先の議題は非公開とする。</li> </ul>

傍聴の状況		
報 一	道 般	1名 0名

平成26年10月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成26年10月28日（火）		
2 開会及び閉会	開 会	16時00分	
	閉 会	16時25分	
3 出席委員	委 員 長	曾 田 佳 代 子	
	委 員	東 條 光 彦	
	委 員	奥 津 晋	
	委員（教育長）	山 脇 健	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	渡 辺 和 夫	教育次長	植 田 朋 哉
統括審議監（企画調整担当）	佐々木 辰 昭	審議監（学校教育担当）	天 野 和 弘
教育企画総務課	長 瀬 尚 樹	中央公民館長	片 岡 延 之
文化財課長	乗 岡 実	事務局（教育企画総務課課長代理）	赤 野 政 治
5 議題及び結果			
第27号議案	平成26年度岡山市文化奨励賞受賞者の決定について	原案可決	
第28号議案	市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について	原案可決	